

東京東江戸川ロータリークラブ

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB 国際ロータリー第2580地区

No.28 第2098回 2013.1.29
http://e-edogawa-rc.com/

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

RI会長 田中作次



親睦の和を奉仕へ

Service · Action with Bond of Fellowship

クラブ会長 鈴木義雄

◆ 創立 ◆ 1969年9月18日(日本で951番目) ◆ 例会日 ◆ 毎週火曜日 12:30~13:30
◆ 例会場 ◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511

鶴岡から望む月山

本日の卓話

「第3回クラブアッセンブリー」

次回の卓話

(紹介者 今野君)

「ロータリークラブ発展の陰の功労者
— チェスリー・ペリーと古澤文作 —」メンバー・元東分区ガバナー補佐
石橋正男君

《1月22日例会報告》

点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

来賓紹介

◎ゲスト 3名

林 茂男氏(ゲストスピーカー・東分区ガバナー補佐)

岡本隆一氏(東分区幹事)

森 達郎氏(東分区副幹事)

◎ビジター 2名

野木芳宏氏(ベイ)、深江一之氏(江戸川中央)

以上5名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
33名	24名	72.73%	100%

会 長 報 告

○本日は第3回ガバナー補佐公式訪問です。

幹 事 報 告

○本日PM3:00~、ガバナー事務所地下会議室にて、次年度地区連絡会開催。石橋次年度「ロータリーの友」地区代表委員出席。

○1月23日(水)PM3:00~ガバナー事務所地下会議室にて、2012-13年度地区新世代奉仕委員会(第3回)開催。岡村地区インターアクト委員長出席。

○1月27日(日)AM9:15、JR四ツ谷駅改札口集合、東京中華学校春節祭開催。城戸インターアクト委員長、岡村地区インターアクト委員長出席。
○地区大会への参加・登録について再度ご協力のお願いが届いております。2月19日(火)のRI会長代理歓迎晩餐会への登録は、1月25日(金)までにご利用したいとのことでございます。ご希望の方はお早めに事務局までお申し出下さいますようお願い致します。

—— 例会臨時変更のお知らせ ——

1月31日(木)

・東京向島RC → 夜間例会(職業奉仕フォーラム)

2月4日(月)

・東京上野RC → 移動例会(3RC合同例会)

2月5日(火)

・東京葛飾中央RC → 夜間例会(新年会)

委 員 会 報 告

<インターアクト委員会>

・古切手収集の件。ペットボトルキャップ収集の件。

《卓 話》

1月22日の卓話は、東分区ガバナー補佐・林 茂男氏の「ロータリーの歴史に学ぶ。どうする今後のロータリー」でした。

会長 ◆ 鈴木 義雄
副会長 ◆ 須賀 精二
幹事 ◆ 中村 新一郎会報・雑誌委員会 ◆ 仲川 昌夫・一樹 靖人・岡村 利之
事務局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774



ニコニコBOX

本日入金…¥ 32,000
 今期累計…¥ 659,000
 基金合計…¥12,393,094

野木氏(ベイ)

…いつもお世話になりありがとうございます。

深江氏(江戸川中央)

…本年もよろしくお願ひ致します。

ニコニコ情報

①本日の卓話

「ロータリーの歴史に学ぶ
 どうする今後のロータリー」
 東分区ガバナー補佐 林 茂男 様
 ご指導宜しくお願ひ致します。

村山君、塚田君、鈴木(義)君、阿部君、森本君、
 平田君、嶋村君、岡村君、中村君、田中君、一栴君、
 城戸君、仲川君 …①

石橋君…林ガバナー補佐他2名の方々、本日はご多用の中ご来会ありがとうございます。よろしくご指導下さい。

計 16名

次年度のテーマは

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

米国サンディエゴで開催中の2013年国際協議会の開会本会議で、ロン・バートン会長エレクトが2013-14年度のテーマ、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」を発表しました。国際協議会は、次期地区ガバナーが世界中から集まり、次年度の就任に向けて研修を受けるための会合です。

「ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません」とバートン会長エレクト。「すべてのロータリアンが重要な役割を果たすようにするとともに、その貢献を称えることが必要です」

ロータリー財団の新しい補助金モデルが7月から全地区に導入されることに触れた会長エレクトは、今がロータリアンにとって「興奮に満ちたとき」で

あると述べました。2010年以来、約100の試験地区が活用してきた新しい補助金モデルは、「ロータリー財団の新たな時代の幕開け」であり、人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会であると、会長エレクトは述べます。「(未来の夢は)ロータリーの素晴らしさをすべて取り入れ、さらに大きく、持続可能な国際プロジェクトを促すと同時に、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高めることによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるもの」と話す会長エレクトは、新システムへの移行において、地区ロータリー財団委員長と協力してクラブを援助するよう、次期ガバナーに呼びかけました。

協議会に先立ち、会長エレクトは、「模範を示して導く」ために、次期ガバナー全員がロータリー財団に寄付を行うよう求めました。その結果、全537地区のガバナー・エレクトから寄付が寄せられ、さらにRI理事会と財団管理委員会も全員が寄付したことにより、総額で675,412ドルが集まったことが、会長エレクトから発表されました。「もし私が寄付をお願いしていなければ、これだけの寄付は集まらなかったのではないか」と話す会長エレクトは、次のように続けました。「これは、今日ここにいる私たち全員が心得ておくべきことだと思います。誰かに何かをしてもらいとき、相手がそれに気づいて自発的に行動するのを待つか、お願ひするか、二つの選択肢がありますが、後者のほうがずっと理にかなっているのではないのでしょうか」

会長エレクトはさらに、これが会員増強にも当てはまると述べ、新会員候補者に入会をお願ひすることは全ロータリアンの責任であると強調しました。国際キワニスの青少年プログラム、キー・クラブに所属していた自らの高校時代に触れ、「自分はいつかキワニアンになるだろうと思っていた」と語るバートン会長エレクト。しかし、実際に入会を誘ってきたのはオクラホマ州のノーマン・ロータリー・クラブだったことから、結果的にロータリーに入会することになったと話します。「ですから、まずはお願ひすることが重要なのです」

さらに、会員増強の活動は新会員を入会させたときに終わるのではないと、会長エレクトは訴えます。「入会した新会員がロータリーに積極的に参加し、ロータリーによって意欲を高め、ロータリーの奉仕のパワーで人々の人生を豊かにできるようになって初めて、仕事が終わったことになるのです」

(国際ロータリーホームページ)

・ロータリーニュースより抜粋)